

日本医師会生涯教育講座（2単位；cc 0,4,10,15）
（公財）日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度認定
（一社）日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師制度認定

疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会 ～症例から適正使用を学ぶ～

開催のご案内

厚生労働省

（公財）麻薬・覚せい剤乱用防止センター

厚生労働省及び公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターは、医療用麻薬の適正使用によるWHO方式がん疼痛治療法の全国への均てん化とがん疼痛治療の更なる向上を目指して、医療関係者にWHO方式がん疼痛治療法に関する実践的な知識を習得していただくための講習会を下記により開催いたします。

多数の皆様のご参加をいただきますよう、ご案内申し上げます。

記

- 1 日時 平成29年1月7日（土） 午後3時～午後6時
- 2 場所 愛媛県医師会館ホール
松山市三番町4丁目5-3 電話 089-943-7582
- 3 内容
コーディネーター
四国がんセンター 緩和ケア科・消化器内科 副院長 谷水 正人 先生
(1) 講演 「がん性疼痛と非がん疾患の除痛に違いはあるか」
北里大学医学部附属新世紀医療開発センター
横断的医療領域開発部門包括ケア全人医療学 講師 荻野 美恵子 先生
(2) 講演 「疼痛緩和医療における薬局薬剤師の役割」
大洲調剤みどり薬局 管理薬剤師 津曲 芳久 先生
(3) 講演 「在宅緩和ケアにおける医療用麻薬の使用（症例提示）」
大洲みやうち医院 院長 宮内 章充 先生
(4) 講演 「医療用麻薬等の適正管理について」
愛媛県保健福祉部 健康衛生局 薬務衛生課麻薬毒劇物係 望月 美菜子 先生
(5) 質疑応答
- 4 対象者 医療関係者
- 5 参加費 無料
- 6 主催 厚生労働省
（公財）麻薬・覚せい剤乱用防止センター
- 7 後援 愛媛県 （一社）愛媛県医師会 （一社）愛媛県薬剤師会
- 8 協賛 麻薬生産者協会
（救急薬品工業、協和発酵キリン、塩野義製薬、第一三共、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、帝國製薬、テルモ、日本臓器製薬、久光製薬、藤本製薬、丸石製薬、ヤンセンファーマ、祐徳薬品工業）
- 9 事務局 （公財）麻薬・覚せい剤乱用防止センター （富澤・白井）
電話 03-3581-7436
- 10 参加申し込み
（公財）麻薬・覚せい剤乱用防止センターホームページ
（<http://www.dapc.or.jp>）よりお申し込みください。
FAXによるお申し込みも受け付けております。（03-3581-7438）
1月5日（木）まで受け付けますが、定員に達し次第締め切ります。

【医療関係者対象の講習会】

「疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会」
参加申込書（FAX）

申込先FAX番号：03-3581-7438

平成 年 月 日

会場	愛媛県医師会館ホール		
日時	平成29年1月7日（土） 午後3時～午後6時		
ふりがな			
氏名			
職種	医師 歯科医師 薬剤師 看護師 その他の医療関係職種（ ）		
所属	病院 診療所 保険薬局 その他（ ）		
住所	都道 府県	市区 町村	
連絡先	FAX：（ ） TEL：（ ） Eメール：	— — @	
受講証明 (注3、4)	<input type="checkbox"/> 医師生涯教育講座 <input type="checkbox"/> 薬剤師研修センターシール <input type="checkbox"/> 緩和医療薬学会シール		
質 問 (講習会の最後にパネル形式で質疑応答を行います。)			

- (注) 1 この申込書の個人情報、本講習会関係事務以外には使用いたしません。
- 2 ご希望の方には、財団発行の受講証明書をお渡しいたします。
- 3 お申し込みが多い場合は、臨床の医療従事者の方の受講を優先いたします。このため、製薬会社にご所属の方については、受講をご遠慮いただくことがありますのでご承知おきください。その場合は、12月27日までにFAXでご連絡します。
- 4 受付票は発行しません。定員超過の場合はご連絡します。